QORINAI

NVIDIA HGX B300 をオーストラリアで構成・テスト · GB300 NVL72 ホールを設計中

オーストラリアの AI インフラを、送電網から GPU まで築く。

Australian AI infrastructure, built from the grid to the GPU.

QORINAI は AI データセンターを開発・建設・運用します — 土地と電力、設計と施工、ハードウェア、クラスター導入、24×7 GPU 運用、そしてその上のソブリンクラウド。チェーンのすべての段階を、責任を負う一つのチームが担います。

26 MW+
デリバリーパートナーが納入

150 kW
ラック当たり、液冷設計

GW 級
キャンパスをマスタープラン策定中

100 %
オーストラリア資本・運営

QOR はコア。 IN はインテリジェンス層。 AI はその上で動くもの。

QOR is the core. IN is the intelligence layer. AI is what runs on top.

QORINAI はオーストラリア資本の AI データセンター開発・運用会社です。ギガワット時代の AI インフラは、電力プロジェクトであり、建設プロジェクトであり、ハードウェアプロジェクトであり、ソフトウェア運用でもある — そのすべてを提供できる一社がオーストラリアに存在しなかったからこそ、私たちは生まれました。

QOR

コア

シンボルに刻まれたチップ、ホール、変電所：事業の物理的な心臓部であり、私たち自身の手で築く部分。

IN

インテリジェンス層

ファブリック、テレメトリ、運用ランブック、午前 2 時に現場にいる人々 — コアをつなぐすべて。

AI

その上で動くもの

モデル、クラスター、顧客が GPU 時間単位で借りるソブリンクラウド。

ミッション

受電可能な土地を、ソブリンコンピュートへ。

オーストラリアのデータセンター計画はギガワット単位で語られますが、今後 10 年で実際に受電される容量はそのごく一部です。私たちの仕事はそのギャップを埋めること — 電力を確保し、 GPU 密度のホールを建て、その中のフリートをオーストラリアの管理下で運用することです。

私たちの仕事の進め方

- ✓ **電力優先。** 設計より先に系統連系の手続きを進める — 接続のないホールはただの倉庫です。
- ✓ **オーナー直営の納入。** 専門業者と直接契約し、元請 EPC を置かない。利益とノウハウはプロジェクトに残ります。
- ✓ **設計段階からの高密度。** すべてのホールを初日から 150 kW 液冷ラック仕様に。
- ✓ **標準でソブリン。** オーストラリア資本・人員・ホスティング。顧客データでの学習なし。

オーストラリアに計画中のデータセンターは不足していません。不足しているのは、受電可能な土地、液冷ホール、そして GPU フリートを運用できる人材です。

Australia has no shortage of planned data centres. It has a shortage of energisable land, liquid-cooled halls and people who can run a GPU fleet.

だから私たちは、その 3 つを軸に会社を作りました。

電力優先

コンクリートより先に系統連系を

ホールを設計する前に、送電・配電の照会、系統強度調査、そして 3 層の電源 — 系統、暫定配電、オンサイト発電 — を整えます。

設計段階からの高密度

初日から 150 kW の液冷ラック

すべてのキャンパスにチップ直接冷却、リアドア熱交換、空冷ホールを備え、次世代の NVIDIA や AMD への移行は建て替えではなくラック交換で済みます。

オーナー直営

間に元請 EPC を置かない

電気・機械・液冷・コンプライアンスの各業者と直接契約。利益とノウハウはプロジェクトに残ります。

ソブリン

オーストラリア資本・人員・ホスティング

プロンプトのキャッシュなし、お客様のデータでの学習なし、お客様とハードウェアの間に海外の承認は介在しません。

供給の確実性

株主名簿にメーカーがいる

オーストラリアのオープン OEM メーカー Hyperscalers が戦略株主 — オーストラリアで構成・テスト、豪州保証、ラボでの試用。

一つの運用者

冷却ループを設計したチームが、午前 2 時のアラートにも対応

建設から運用まで、一つの契約、一つの SLA 、一つの電話番号。

● AIDC チェーン · THE AIDC CHAIN

送電線からトークンまで、 8 つの段階。

Eight links from the transmission line to the token.

多くの AI プロジェクトは変電所と GPU の間で止まります — 4 社、 4 つの契約、そのギャップに責任を持つ者はいない。 QORINAI はそのギャップが存在しないように組織されています。

01

土地と電力

超高圧送電線沿いのサイト、正式な連系照会、ガス火力による補完と蓄電池。

4 MVA → 1 GW

02

設計

Tier III+ の MEP 、 3 種の冷却方式、 220 / 33 kV 配電、設計 PUE ≤ 1.2 。

ラック当たり 150 KW

03

建設

可搬型 2.5 MW モジュール、オーナー直営の分離発注、段階的な電力ブロック。

10 〜 50 MW ブロック

04

ハードウェア

Hyperscalers がオーストラリアで構成・テストした HGX B300 、 GB300 NVL72 、 AMD Instinct システム。

オーストラリアで構成・テスト · 豪州保証

05

導入

ラッキング、配線、 InfiniBand XDR ファブリック、 NCCL / HPL バーンインと熱ソーク。

ベンチマーク付きで引渡し

06

運用

24×7 の GPU フリート管理、ファームウェアのライフサイクル、ホットスペアによる RMA 、月次報告。

99.9 % ノード SLA

07

ホスティング

稼働中の Tier III+ ホールでのキャパシティ・ホスティングとコンピュート・リース — 新設を待つ必要なし。

ラック当たり 30 〜 150 KW · 今日から稼働

08

コンピュート

ソブリン GPU クラウド、 100 以上のオープンウェイトモデル、プライベートクラウド — 豪ドル建て。

お客様のデータで学習しない

● 段階 01 〜 02 ・ 土地と電力、設計

電力の手続きが先。ホールは次のラックのために設計。

The power process runs first. Halls are designed for the rack you'll deploy next.

オーストラリアの計画容量のうち、今後 10 年で受電されるのはごく一部です。制約となるのは規則に基づく正式な連系 — だからこそ、私たちはそれを最初に確保します。

互いを補完する 3 層の電源

送電

NER 連系照会；新設変電所または 220 kV の選択肢； PSS/E・PSCAD 解析。

暫定配電

送電連系が進む間、建設と初期 IT 負荷向けの配電ルート。

オンサイト発電

ガス火力による補完、グリッドフォーミング BESS、ビハインド・ザ・メーターの PPA により、キャンパスを予定通り立ち上げ。

すべてのキャンパスに 3 種の冷却方式 ・ TIER III+ ・ 設計 PUE ≤ 1.2

Tier A・空冷

≤ 30 kW / ラック

ストレージ、ネットワーク、 PCIe GPU 、 CPU ノード向けのホットアイル封じ込め。

Tier B・RDHx

30 〜 80 kW / ラック

サーバーを変えずに HGX B200 / B300 空冷ノードに対応するリアドア熱交換。

Tier C・DLC

80 〜 150 kW / ラック

チップ直接液冷、列ごとの CDU 、 415 V バスウェイ。 GB300 NVL72 とその先のために。



500 kV

設計対象の連系電圧

≥ 3

1 GW 負荷に対する連系点

2N・N+1

UPS と発電、 48 時間分の燃料

< 1.10

パートナーのポッド設計で実測した PUE

モジュール型ブロック、オーナー直営、ベンチマーク付き引渡し。

Modular blocks, owner-managed delivery. Handed over benchmarked, not boxed.

可搬型 2.5 MW モジュール

配電・冷却・セキュリティを内蔵した工場製の自己完結型ユニット。 8 基で 20 MW を提供；各モジュールは解体・改修・再配置が可能。

契約 → 数日で初受電

既存電源でのモジュール型立ち上げ

配電容量が既にあるサイトでは、送電連系の手続き中に 2.5 ～ 3 MW のモジュール型を 14 か月のプログラムで稼働。

14 か月プログラム

キャンパスの電力ブロック

それぞれ変電所容量・冷却設備・データホールを持つ反復可能な 10 ～ 50 MW ブロック — 資本は段階的に投入し、後続ブロックの建設中もテナントは稼働。

10 ～ 50 MW ブロック

CONVENTIONAL · MASTER EPC

- 全工種に 10 ～ 20 % の EPC マージン
- オーナー・ EPC ・下請け間のインターフェースコスト
- 液冷の設計変更は変更手続き待ち
- ノウハウは EPC に残る

QORINAI MODEL · OWNER-MANAGED

- 電気・機械／液冷・配線・コンプライアンスの各業者と直接契約
- 元請 EPC のマージンもインターフェースコストもなし
- 設計変更は現場でその週のうちに解決
- ノウハウは当社のランブックと製品設計に蓄積
- 実績ある下請けチームを次のクラスターでも活用

段階 05 · 導入

5.1 ラッキングと電源

ラック配置、バスウェイ分岐、 A+B PDU バランス、 DLC ノード用液冷マニホールド。

5.2 ファブリック構築

レール最適化 InfiniBand XDR または 800G RoCEv2 、 1:1 ノンブロッキング、ホール間二重経路リンク。

5.3 バーンインと検証

ファームウェア基準、 DCGM 、 NCCL all-reduce 、 HPL 、熱ソーク — ノードごとに記録。

5.4 プラットフォーム引渡し

Slurm または Kubernetes 、ストレージマウント、テナント分離、監視とランブックを初日から。

● 段階 06 〜 08 · 運用、ホスティング、コンピュート

GPU は稼働してこそ資産。

GPUs are only an asset when they are busy.

遊休状態の B300 ノード、温まった冷却ループでスロットリングするノード、 RMA を 3 週間待つノードは、価値を失い続ける負債です。私たちは電力会社が送電網を運用するように GPU フリートを運用します：常時計測、故障前の保守、所有者への月次報告。

99.9 %
ノード可用性、月次 SLA

15 分以内
P1 対応、現地エンジニア

4 時間以内
一般スマートハンズ

30–150 kW
ラック当たり、 A+B 二重給電

06 · 運用 — すべての GPU を計測

- SM 占有率と Tensor Core 使用率
- HBM 温度、 ECC 、行リマップ回数
- NVLink / NVSwitch のリンクエラーと再トレーニング
- Xid 障害、ドライバリセット、 GPU ・ラック当たり電力
- 冷却液供給温度と CDU ごとの ΔT
- ファブリック健全性、ジョブスループット、キュー深度

24×7 NOC · ファームウェア・ドライバ・ CUDA のライフサイクル · ホットスペアによる RMA · Slurm / Kubernetes · 所有者とレンダー向けの稼働率報告

07 · ホスティング — GPU 密度のコロケーション

スペース 1/4 ラックからプライベートケージ・スイートまで

電力と冷却 二重給電が標準、 DLC ホールでラック当たり最大 150 kW 、冗長設備

接続性 40 Gbps 超のクロスコネクト、ダークファイバー、 IP トランジット、豪州主要・国際キャリア

スマートハンズ P1 は 15 分以内、一般は 4 時間以内 — オーストラリアのエンジニアが現地対応

08 · コンピュート — ソブリン AI とクラウド

- GPU-as-a-Service — 予約プール、豪ドル建て
- GPU ・ CPU クラスター；単一 GPU からフルノードまで
- 100 以上のオープンウェイトモデル、 OpenAI 互換 API
- ベアメタル、 VM 、プライベート OpenStack クラウド
- NVMe ブロックと S3 オブジェクトストレージ、 DR とバックアップ
- HPC 、ベアメタル VFX レンダリング

オーバーコミットなし · 豪ドル建て · プロンプトキャッシュなし · お客様のデータで学習しない

● GPU ホスティングとコンピュート・リース · 今日から稼働

すでにあるホールで、 GPU を稼働させる。

GPUs go live in halls that already exist.

キャンパスには何年もかかります。オーストラリアで現実的な短期の GPU 供給は、既存の受電済み Tier III+ ホールに収容できる分です。 QORINAI は建設済み・稼働中のパートナー施設に GPU クラスターを増設し、期間契約の下で運用します — 新設リスクなし、系統連系待ちなし。

Tier III+

稼働中の受電済みホール — 新設不要

128 ノード

導入するクラスター単位 — 1,024 GPU 、800G ファブリック

30–150 kW

ラック当たり、空冷、 RDHx 、またはチップ直接液冷

99.9 %

ノード可用性、 24×7 オーストラリアの NOC

GPU を所有している

私たちがホストし、運用します

GPU 所有者、ネオクラウド、企業 AI チーム向けのキャパシティ・ホスティング：電力、冷却、ネットワーク、セキュリティ、スマートハンズを一つの豪ドル建て月額料金で。フリート管理では 24×7 監視、ファームウェアのライフサイクル、ホットスペアによる RMA 、所有者とレンダー向け報告を追加。

月額豪ドル · ラック単位または GPU 単位

コンピュートが必要

期間契約で私たちから借りる

予約 HGX B300 ノードまたは 128 ノードのフルクラスターを、期間中は GPU 時間または月額の固定価格で — 1～5 年、テイク・オア・ペイ、値上げなし。オーストラリアでホスティング、お客様のデータで学習しない。クラスターの一部から始め、専用ホールまで拡張。

豪ドル固定価格 · 1～5 年契約

利回りを得たい

契約済みクラスターに共同出資する

GPU クラスターは不動産の上に乗る第二の資産層です。投資家とレンダーが Hyperscalers がオーストラリアで構成・テストしたハードウェアに資金を出し、稼働中の施設に導入され、パレットが届く前に借主と全量契約済み；QORINAI が導入・運用・報告を行います。

導入前に契約済み

クラスターが稼働するまで

1. Hyperscalers を通じてハードウェアを割当・構成 →
2. 稼働中の Tier III+ ホールに搬入 — 液冷ラック準備済み →
3. バーンイン： NCCL 、 HPL 、熱ソーク — ベンチマーク付きで引渡し →
4. 24×7 運用、 99.9 % SLA 、月次報告 →
5. 後に専用ホールやキャンパスへ移設 — 再プラットフォーム化不要

ホスティング施設は稼働中のパートナー拠点；契約相手と条件は NDA の下で開示

一つのプロジェクトに、一つのビークル。すべてのパートナーシップを分離。

One project, one vehicle. Every partnership ring-fenced.

各パートナーシップ — GPU クラスターとそのリース、データセンター建設、新しい国 — はそれぞれ Qinari の名を冠した独立の特別目的会社（SPV）であり、固有の資産・契約・資本・レンダー・リターンを持ちます。 QORINAI がすべてのビークルを運用し、パートナーは自ら選んだビークルにのみ投資します。

Qinari Compute

コンピュート・ビークル · GPU 設備の所有とリース

クラスターを所有し、コンピュートをリース。

- ✓ 保有：サーバー、ファブリック、予備品、保証
- ✓ 契約：キャパシティまたは設備リース；QORINAI との O&M
- ✓ 資金：設備ファイナンスとパートナー出資

設備金融機関 · GPU 所有者 · オフテイク顧客

Qinari Infrastructure

インフラ・ビークル · データセンターの開発と建設

土地、電力、ホールを保有。

- ✓ 保有：土地、連系権、設備、建物
- ✓ 契約：開発、建設、ホスティングまたはリース； O&M
- ✓ 資金：パートナー出資、プロジェクト／建設融資

エネルギー企業 · インフラファンド · 設備出資型サプライヤー

Qinari International

海外ビークル · オーストラリア以外

同じモデルを、パートナーの所在地で設立。

- ✓ 保有：コンピュート、インフラ、または両方 — 現地プロジェクトの必要に応じて
- ✓ 契約：現地パートナー契約、 QORINAI サービス、ハードウェア供給
- ✓ 資金：現地パートナー資本、輸出・開発金融

日本 · シンガポール · マレーシア · 中東

なぜプロジェクトごとにビークルか

リスク分離 一つの資産の遅延やリース事由が他のビークルに波及しない

明確な資本構成 パートナーはプロジェクト単位で、選んだビークルにのみ投資

レンダー対応 単一目的・資産担保；連結なし、クロスデフォルトなし

利害の一致 QORINAI が共同出資し、サービス契約の下で各 SPV を運用

法域への適合 豪州資産には豪州法人、海外には現地ビークル

出口の選択肢 借換、保有、または売却 — ビークル単位で

QINARI SPV に置くもの

設備・土地・建物の法的所有権 · 顧客のリース・キャパシティ・ホスティング契約 · プロジェクト債務と当該ビークル資産上の担保 · パートナーの持分と株主間契約 · 分離された口座と月次報告

QORINAI に残るもの

エンジニアリング・導入・24×7 運用チーム · IntraLLM プラットフォーム、手法、設計 · Hyperscalers を通じたハードウェア供給関係 · 各ビークルとの開発管理・ O&M ・サービス契約 · パートナーと並ぶ各ビークルへの共同出資

Qinari — 「ファブリックの中のコア」；一般的な枠組みでありオファーではありません；条件はビークルごとに NDA の下で合意

あらゆる AI ワークロードに最適なアクセラレータを。

The right accelerator for every AI workload.

戦略株主 Hyperscalers を通じてオーストラリアで構成・テスト・保証 — オーストラリア製、完全な豪州保証、チャネル価格はお問い合わせください。



注目 · 8U

NVIDIA HGX B300 8-GPU

一つの NVLink ドメインに 8 基の Blackwell Ultra GPU 、デュアル Intel Xeon 6 、 800G ファブリック — オーストラリアで完全組立・テスト済みで納品。

GS7 B300 · G894-SD3-AAX7



ラックスケール

NVIDIA GB300 NVL72 · B300 高密度

一つの NVLink ドメインに 72 GPU と 36 Grace CPU 、約 21 TB HBM3e 、約 130 kW 液冷 — または 3U 高密度ノードでラック当たり 72 B300 。

DLC · 415 V バスウェイ



推論 · 7U

AMD Instinct MI325X 8-GPU

8× MI325X 、各 256 GB HBM3e — EPYC 9005 Turin でノード当たり 2 TB 。大規模オープンウェイトモデルのメモリ律速推論向け。

S8MT · D75T-7U



ファインチューニング · 8U

NVIDIA HGX B200 8-GPU

定評ある価格帯の Blackwell ; 8× 400 Gb/s NDR 、約 14 kW ノード、空冷または DLC 対応。

GX5 B200 · G893-SD1-AAX5



ファブリック

InfiniBand XDR と 800G Ethernet

Quantum-X800 、 Spectrum-X 、 BlueField-3 DPU 、 1 〜 400G の ONIE ベアメタルスイッチ、 800G 光モジュール — いずれもオーストラリアで構成・テスト。

1G → 800G



ストレージ

NVMe オールフラッシュ、JBOD 、並列 FS

Gen5 NVMe オールフラッシュノード、 42 〜 102 ベイの 4U JBOD 、 8-GPU ノードにデータを供給し続ける Lustre / WEKA 級の並列ファイルシステム。

NVME · JBOD · PFS

● 段階 04 · ハードウェア · 注目ノード

NVIDIA HGX B300 8-GPU （G894-SD3）— 標準ノード。

NVIDIA HGX B300 8-GPU (G894-SD3) — our standard training and inference node.



G894-SD3 · XEON 6 · 8U DP · HGX B300

一つの NVLink ドメインに 8 基の Blackwell Ultra GPU 、デュアル Intel Xeon 6 、 800G ファブリック — オーストラリアで完全組立・テスト済みで納品。

GPU	8× NVIDIA B300 Blackwell Ultra · NVLink + NVSwitch
CPU	2× Intel Xeon 6 6767P · 各 64 コア
ファブリック	ConnectX-8 · 8× 800 Gb/s OSFP
形状	8U · 空冷またはチップ直接液冷
納品	L10 組立・テスト済み · オーストラリア保証

完全な豪州保証

納品前に構成とバーンイン済み

購入前に HyperLabs で試用

オーストラリアで構成・テスト · キャンベラ

ラック内のその他すべて

株主を通じた完全なオープン OEM 製品群 — オーストラリアで構成・テスト・保証。

サーバー GPU （HGX 、 PCIe 、 Instinct ）、 PCIe Gen5 Xeon 6 / EPYC 9005 、 1U ～ 10U

ハイパーコンバージド 4 ノード 2U 、マルチノード SSD 、 SDS / SDC 、マイクロサーバー

ストレージ 4U JBOD 、 NVMe オールフラッシュ、 SDS 対応ストレージサーバー

スイッチ T1000 / T3000 / T5000 / T7000 ベアメタル ONIE 、 1G ～ 400G

OCP ハイパースケール Rackgo M / X / X-RSD オープンラック・コンピュートとストレージ

エッジとデバイス PCIe Gen5 ワークステーション、ファーエッジ、通信／ 5G エッジ

コモディティ CPU · RAM · SSD · NVMe · NIC · 光モジュール · GPU

Lab Lab-as-a-Service の試用、 IP アプライアンス設計

● 戦略株主 · STRATEGIC SHAREHOLDER

オーストラリアのオープン OEM サーバーメーカーが後ろ盾。

Backed by Australia's open-OEM server manufacturer.

HYPERSCALERS

Hyperscalers は 2014 年からオーストラリアでオープン OEM のサーバー・ストレージ・ネットワーク機器を設計・製造・サポートしてきました — クラウド事業者、通信事業者、企業 IT を支えるハードウェアです。戦略株主として、国内製造、オーストラリアで構成・テスト、完全な豪州保証、購入前に構成を試用できるラボをもたらします。



2014 年設立 · キャンベラ | オーストラリア製 | 完全な豪州保証 | HYPERLABS での試用 | 豪州・米国で事業展開

株主名簿にメーカーがいると何が変わるか

供給の確実性

Hyperscalers 経由で割り当てる NVIDIA HGX B300 と AMD Instinct システムの割当。パレットがホールに届く前に構成とバーンインを完了。

ソブリン保証

オーストラリアの保証、予備品、エンジニア。故障した GPU トレイはホットスペアと交換し、国内で RMA。

オープンな経済性

オープン OEM 価格と汎用部品により、GPU 当たりの資本コスト — そして GPU 時間当たりのホスティング価格 — を Tier 1 OEM 製品より低く。

共有する顧客基盤

クラウド事業者、コロケーション事業者、企業 IT、通信事業者、コンサルタント — Hyperscalers から購入するパートナーは QORINAI でホスティングできます。

コミットする前に試す

QORINAI のすべての参考構成は HyperLabs で試用可能 — ベンチマークしたクラスターが、そのまま導入するクラスターです。

● ソフトウェア ・ INTRALLM ・ QORINAI 独自プラットフォーム

自社のネットワークの中に、自社の AI を。

Your own AI, inside your own network.

IntraLLM は QORINAI のターンキー型エンタープライズ AI プラットフォームです。自社の LLM やマルチモーダルモデルを、オンプレミス、当社ホール内のプライベートテナンシー、またはソブリンクラウドで実行・学習 — ハードウェア、オーケストレーション、モデル、アシスタント、自動化を一つのコンソールに。データは建物の外に出ません。

オンプレミスまたはプライベートクラウド | エアギャップ対応 | 自社モデルの持ち込み | NVIDIA ・ AMD GPU 対応



ビジネスアシスタント

自社の文書・システム・ポリシーに基づく、社内向けおよび顧客向けアシスタント。

プロセス自動化

画面を読み取り、フォームに入力し、ERP ・ CRM ・チケットシステムをまたいでワークフローを完了するエージェント。

ビジネスアシュアランス

建設文書、サイバーセキュリティ態勢、マーケティング成果物を自社基準に照らして品質保証。

自社モデルの持ち込み

厳選リポジトリと並行して、独自モデルやファインチューニング済みモデルをロード・調整・提供。

モデルリポジトリ

厳選されたオープンウェイト LLM / LMM モデル — GLM-4.6V 、 Qwen 2.5 、 DeepSeek 級の推論モデル — をローカルでバージョン管理。

クラスターマネージャー

全ノードにわたる GPU ジョブのオーケストレーションとライブテレメトリ — 使用率、メモリ、電力、温度。

SQL エージェント

自然言語の質問を、 SQLite 、 MySQL 、 PostgreSQL 、 Oracle 、 SQL Server 向けの最適化・解説付き SQL に変換。

サポート

プラットフォーム、モデル、その下のハードウェアまで、オーストラリアのエンジニアリングサポート — 一つの窓口で。

すべての企業が自社の AI モデルを学習させ、育てる必要に迫られます。問題は、その知識が社内に留まるかどうかです。

Every enterprise will need to train and mature its own AI models. The question is whether that knowledge stays inside the company.

知的財産の保持

ネットワーク内で学習したモデルは、社員のノウハウを恒久的で検索可能な会社の資産に変えます。

価値創造

モデルを所有することで、IT 部門は業務プロセスを次々と自動化・品質保証できます — その能力は複利的に高まります。

主権性

企業データもプロンプトも外部 LLM に送らない — 契約ではなくアーキテクチャによるコンプライアンス。

セキュリティ

サイバーアシュアランスのワークロードが、ログ・設定・チケットを社外に出すことなく検査。

経済性

専用 GPU により、エージェントが増えるほど膨らむトークン課金ではなく、定額で予測可能な月額コストに。

レイテンシと帯域

データのそばで推論・学習することで、GPU 使用率 — そしてエネルギー効率 — を高く維持。

スタック · GPU からユーザーまで

L5 インターフェース
Web コンソール、アシスタント、エージェント、SQL エージェント、API — 自社の ID プロバイダーの背後に

L4 モデルリポジトリ
厳選オープンウェイト LLM / LMM と自社モデル、バージョン管理とアクセス制御付き

L3 Transformers と拡張
推論・ファインチューニングのランタイム、INT8 / FP8 量子化、検索、コネクタ

L2 クラスタリングとオーケストレーション
ノードスケジューリング、GPU ごとのテレメトリ、アラート、キャパシティ計画

L1 GPU サーバー
HGX B300 / H200 、AMD Instinct 、RTX PRO — Hyperscalers がオーストラリアで構成・テスト

ベンチマーク · ローカル VS クラウド

自然言語の指示によるブラウザ自動化タスク：メーカーのウェブサイトで車両を構成し、問い合わせフォームを送信。

Qwen 2.5 72B・NVIDIA H200 1 基

2 min 25 s

INT8 、141 GB HBM3e — モデル全体を 1 GPU に

GPT-4o・パブリック API

2 min 40 s

呼び出しごとにデータがネットワークの外へ

Qwen 2.5 72B・マルチ GPU A6000

6 min 22 s

モデルを複数カードに分割 — NCCL / PCIe のオーバーヘッド

Hyperscalers 社内ベンチマーク、単一実行、参考値。

● 実績 · TRACK RECORD

オーストラリアで築いた実績 — いま QORINAI のために建設するチームによって。

Built in Australia, by the teams that now build for QORINAI.

QORINAI は新しい会社ですが、経験豊富な陣容を備えています。デリバリーパートナーとエンジニアリング責任者は 2008 年以来、ニューサウスウェールズ州とビクトリア州で高密度コンピュートを設計・建設・運用してきました。プロジェクトは彼らのもの；その能力は今、私たちのものです。契約相手とサイトの詳細は NDA の下で開示します。

26 MW+
納入した高密度コンピュート

80 MW+
エンジニアリング責任者が納入した液冷容量

27 yrs
データセンター基盤の経験年数

2
連系した NSW の配電網

能力の年表 · 都心コロケーションから液冷 GPU へ — そして今、ギガワット級キャンパスへ

2008
都心コロケーション開設
100 ラック、N+1、ダークファイバーリング — 現在も稼働中。

2014
オープン OEM 製造
戦略株主がキャンベラでサーバー製造を開始。

2021–22
発電所隣接のモジュール型サイト
8 × 2.5 MW モジュール、5 か月で 1.9 → 20 MW に段階拡張。

2022
約 14 MW の高密度建設
ポートフォリオ最大の単一建設；電力会社との直接調整。

2025–26
1 MW 液冷 GPU クラスター
オーナー資金、元請 EPC なし、PUE < 1.10 のポッド設計。

2026
GW 級キャンパスのマスタープラン
QORINAI 自身のプログラム：電力優先、3 層の電源。

4 つのプロジェクト、チェーンの 4 つの段階。

Four projects, four links of the chain.

各プロジェクトが異なる能力を示します — 系統連系、モジュール型のスピード、継続運用、オーナー直営の液冷納入 — そして同じ人材が 4 件すべてを担っています。

プロジェクト 1 · 高密度コンピュート

約 14 MW の高密度施設、グレーターシドニー

~14 MW	> 1 M CFM	4–12 °C
IT 負荷	カスタム冷却	ホール温度帯

豪州で最も連系制約の厳しい地域の一つで、配電事業者との直接調整により受電。カスタム高風量冷却、テナントごとの VLAN 分離、多層物理セキュリティ。

なぜ重要か 連系待ちの多い系統での正式な連系は、豪州 DC 開発で最も希少な資産。このチームはそれを成し遂げました。

プロジェクト 2 · モジュール型データセンター

再エネ発電所隣接の約 11 MW モジュール型サイト、 NSW 北部

8 × 2.5 MW	3 日	5 か月
modules	契約 → 初受電	1.9 → 20 MW に段階拡張

7 年間のテイク・オア・ペイ契約の下、 30 MW バイオマス発電所のビハインド・ザ・メーターに 8 基の可搬型モジュール。後に海外へ移設され現在も稼働 — 真に再配置可能な設計。

なぜ重要か モジュール型、ビハインド・ザ・メーター、段階的受電 — それこそが送電連系の完了前に QORINAI がキャンパスを立ち上げる方法です。

プロジェクト 3 · コロケーション運用

都心コロケーション施設、シドニー — 2008 年から運用

100	N+1	18 yrs
racks	電力と冷却	継続運用

CBD から電車で一駅： N+1 の電力と冷却、シドニーの主要データセンターとピアリングポイントへの冗長ダークファイバーリング、プライベートケージ、 ISO 27001 統制下のリモートハンズ。

なぜ重要か 18 年間の稼働実績が、 QORINAI の運用 SLA の信用基盤です。

プロジェクト 4 · 液冷 GPU クラスター

1 MW 液冷 GPU クラスター、シドニー北岸 — 元請 EPC なし

1 MW	< 1.10	0
液冷 GPU	PUE 、ポッド設計	元請 EPC 契約

電気・機械／液冷・配線・コンプライアンスの下請けと直接契約して納入。特許出願中の廃熱再利用を備えた密閉型高セキュリティポッド製品ラインに供給。

なぜ重要か HGX B300 ラックは 100 kW を超え、液冷が必須。このチームは間に EPC を置かずにすでにそれを実現しています。

契約相手とサイトの詳細は NDA の下で開示

● 旗艦プロジェクト ・ メルボルン北部回廊、ビクトリア州

電力を中心に設計した GW 級 AI キャンパス。

A gigawatt AI campus designed around its power.

500 kV 送電回廊に隣接する一筆の更地の所有権付き土地で、州の送電計画者から 1,000 MW の正式な連系回答をすでに取得済み。反復可能な 250 MW モジュールで IT 負荷 1 GW を目指し、新設 500 kV 変電所から給電されるガス補完と 500 MWh の蓄電池を備える — 電力の手続きを先に進めたからこそ、キャンパスが実現できます。

1,000 MW
評価された最大需要 — 連系は実現可能

4 × 250 MW
1 GW IT に向けた反復可能なモジュール

500 MWh
オンサイトのグリッドフォーミング蓄電池

36 か月
申請から初受電まで



01 · 500 KV 基幹線
送電線まで 1 km

02 · 先行者
半径ごとに新設変電所は一つ

03 · 正式回答
机上の照会ではなく、規則に基づく

04 · 単一の権利
測量済みの所有権付き一筆、約 70 ha

05 · ガス確認済み
300 MW の補完向けにパイプラインを計画

06 · 回廊
ハイパースケーラーがすでに向かう場所

サイトの特定、商業条件、ティーザー全文は NDA の下で開示

3 層の電源が互いを補完。 500 kV で受電、キャンパス内は 220 kV 、各建物へは 33 kV 。

Three supply layers back each other up. 500 kV in, 220 kV across the campus, 33 kV into each building.

主系統 · 送電

新設 500 kV 共用変電所

隣接する 500 kV 線に引き込み、キャンパスへは 220 kV で供給。指名された送電事業者が建設する競争可能な資産；運転開始の目安は 2029 年。

暫定 · 配電

段階的な配電ルート

敷地内の 2 変電所から今日 4 MVA が利用可能。配電事業者は 1,000 MVA の照会に段階的ルートで回答し、実現可能性調査の主導を申し出ました。

補完 · オンサイト

ガス補完 300 MW + 500 MWh BESS

新設 6 〜 8 km パイプライン経由でガス供給量を確認。グリッドフォーミング蓄電池が周波数応答、ブラックスタート、ピークシェービングを提供 — 系統強度に対する自然な補強資産。

当局からの回答

系統 · 送電	2026 年 4 月に 1,000 MW の照会を提出； 2026 年 6 月に NER 5.3.3 の正式回答 — 500 kV 変電所、 3 つの選択肢が実現可能。	実現可能 · 正式回答
系統 · 配電	建設と初期 IT 負荷向けの暫定供給；配電事業者が実現可能性調査の主導を申し出。	段階的ルート
Gas	新設 6 〜 8 km パイプライン経由で 300 MW の補完に必要な供給量を確保可能。	実現可能 · 定量化済み
上水 · 下水 · 通信	上水の評価を実施中；下水ルートを特定；主要キャリアはすべて敷地境界まで到達。	実現可能
土地と計画	測量済みの所有権付き一筆；州の促進プログラムの下で計画ルートを特定。	ルート特定済み

プログラム · 初受電まで 36 か月

- **NOW** — **パートナーとタームシート** NDA 、データルーム、共同技術ワークショップ
- **M 0–2** — **決済と申請** 土地決済、連系申請、計画申請の提出
- **M 2–10** — **実現可能性調査と設計** マスタープラン詳細、 M&E 、ガス／ BESS ／変電所の FEED 、系統モデル
- **M 14** — **建設承認** 許可、系統利用契約、連系サービス契約
- **M 14–36** — **22 か月の建設** 500 kV 変電所、開閉所、 BESS 、第 1 棟
- **M 36** — **第 1 期稼働** 計画者の 2029 年枠内に第 1 棟 250 MW

● 旗艦プロジェクト ・ 250 MW モジュール

一つのモジュールを、 1 GW の回答の範囲内で 4 回反復。

One module, repeatable four times within the 1 GW response.

各モジュールは専用の 220/33 kV 変電所を持つ 250 MW のデータホールブロック — 600 MW の想定事故限度と計画者の段階的負荷プロファイルに収まる規模で、すべての反復が同じエンジニアリング、承認、サプライチェーンに従います。

モジュール 1・250 MW

0 〜 36 か月。変電所 → 500/220 kV 開閉所 → BESS と第 1 棟変電所。建設中は暫定供給とガス補完。

約 17,870 GPU · 17 クラスター × 128

反復 1・500 MW

初受電後、 600 MW の想定事故限度内； 2 〜 3 連系点。

累計約 35,700 GPU

反復 2・750 MW

第 3 連系点と計画者の段階的負荷プロファイルに基づく； 500 kV 線の増強範囲。

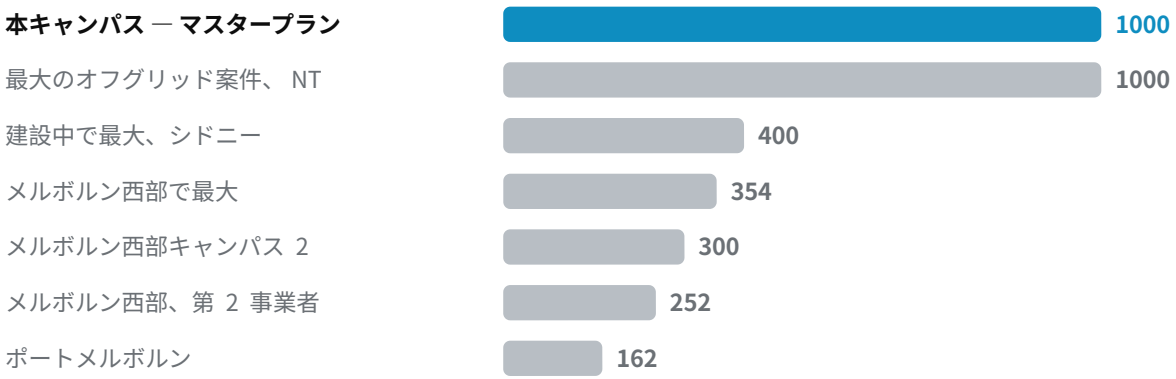
累計約 53,600 GPU

反復 3・1 GW

地域変圧器の増強（ 2031 年）と最終的な 1.5 遮断器方式に基づく。

累計約 71,500 GPU

オーストラリアの基準 ・ 建設中のキャンパス、 MW



容量は各事業者の公表値（業界建設スナップショット、 2026 年）。掲載された系統連系キャンパスはすべてディーゼル予備電源に依存；本プロジェクトはガス補完と 500 MWh の BESS をキャンパスに設計。

参加方法 ・ 組み合わせ可能なストラクチャー

A・ エネルギーパートナー ビハインド・ザ・メーターの電力 JV — 長期 PPA またはトーリング契約の下でガス発電、 BESS 、オンサイト変電を共同所有。

B・ 設備 + 出資 BESS 、 PCS 、インバーター、変電設備の優先供給と、プロジェクト会社への少数持分出資。

C・ 開発会社への出資 計画申請前に参加し、「実現可能」から「承認済み」への価値上昇を取り込む。

D・ ショーケース・アンカー エネルギーシステムの命名権、オンサイト実証センター、共同発表のための小規模なコミットメント。

一緒に建てる、一緒にホストする、あるいはコンピュートだけを借りる。

Build with us, host with us, or just rent the compute.

一つのエンジニアリングチーム、一つの施設群、一つの豪ドル建て月次請求書を共有する 4 つのサービス群。

インフラ開発

1 MW → GW

- AI データセンターの設計・建設 — Tier III+ MEP 、施工管理、 IST
- 電力と系統連系 — 照会、オプション検討、変電所ルート
- エネルギーとマイクログリッド — ガス補完、グリッドフォーミング BESS 、 PPA 、テイク・オア・ペイ
- モジュール型データセンター — 可搬型 2.5 MW ユニット
- 液冷エンジニアリング — DLC 、 RDHx 、 CDU 設備、 80 〜 150 kW ラック
- コミッショニングとバーンイン — ロードバンク IST 、 NCCL 、 HPL 、熱ソーク

データセンターサービス

30–150 KW · A+B

- 高密度コロケーション — 1/4 ラックからプライベートスイートまで
- 所有者、ネオクラウド、企業 AI チーム向け GPU キャパシティ・ホスティング
- 生体認証アクセスと個別計量のプライベートケージ・スイート
- スマートハンズ 24×7 — P1 は 15 分以内、一般は 4 時間以内
- クロスコネクト、 IP トランジット、ダークファイバー、ビジネスファイバー
- VPC と SD-WAN 、 DDoS スクラビング、マネージドファイアウォール

コンピュートとクラウド

豪ドル建て

- GPU コンピュートとマルチノードクラスター — 時間課金または予約
- 契約期間中は豪ドル固定価格の GPU-as-a-Service
- AI モデルホスティング — 100 以上のモデル、 OpenAI 互換 API
- ベアメタル、仮想マシン、プライベート OpenStack クラウド
- ブロック・オブジェクトストレージ、 DR 、イミュータブルバックアップ
- フレーム時間単位の HPC と VFX レンダリング

マネージドとプロフェッショナル

99.9 % ノード SLA

- GPU フリート管理 — 24×7 NOC 、 DCGM 、ファームウェアのライフサイクル、 RMA
- インフラ、 OS 、プラットフォーム層のマネージドサービス
- プロフェッショナルサービス — アーキテクチャ、移行、クラスターサイジング、コストモデリング
- Lab-as-a-Service — 資本投下前に試用
- Hyperscalers チャネルを通じた IP アプライアンス設計
- 24×7 オーストラリアのサポート — 一つの窓口、一つのチケットキュー

● 拠点 · WHERE WE ARE

シドニーを中心に、全国展開を前提に。

Sydney-led, national by design.







テクノロジープラットフォーム

NVIDIA HGX B300 · GB300 NVL72 · AMD Instinct MI325X · Intel Xeon 6 · Quantum InfiniBand XDR · Spectrum-X 800G · Open Compute Project · チップ直接液冷 · Tier III+

資格 · 準拠する基準

施設設計	Tier III+ 同時保守可能、設計目標 99.99 %
セキュリティ	ISO 27001 に整合した運用と統制
効率	設計 PUE ≤ 1.2 ; パートナーのポッドで実測 < 1.10
所有権	100 % オーストラリア資本・運営

誰のためにコンピュートを建設・運用するか

- ✓ ソブリン・ワークロード
- ✓ AI スタートアップとネオクラウド
- ✓ GPU 資産の所有者とレンダー
- ✓ 金融サービス
- ✓ エンタープライズ
- ✓ ソフトウェアと MSP
- ✓ 研究・教育
- ✓ メディアと VFX

QORINAI

● QORINAI と働く · WORK WITH QORINAI

メガワットとモデルについてお聞かせください。

Tell us about the megawatts and the models.

土地と系統連系、行き場のない GPU フリート、コンピュートのないモデル —
どの段階からでも始められます。エンジニアが 1 営業日以内に返信します。

qorinai.ai · お問い合わせフォーム、1 営業日以内に返信

A/200 Bourke Rd, Alexandria NSW 2015, Australia

どの段階からでも

AI データセンターを建てる
設計・建設、電力・系統、モジュール型立ち上げ、液冷

サイトの電力を確保する
連系照会、エネルギー構成、段階的受電

GPU クラスターを導入・ホストする
オーストラリアで構成・テストしたハードウェア、ベンチマーク付き引渡し、24×7 フリート運用

ソブリンコンピュートを予約する
GPU-as-a-Service 、IntraLLM 、プライベートクラウド — 豪ドル建て

投資やパートナーシップを相談する
NDA の下でプロジェクトのティーザーと実績の参照

© 2026 QORINAI Pty Ltd · 仕様は参考値であり最終設計により変更 · 実績プロジェクトは QORINAI のデリバリーパートナーが納入；契約相手は NDA の下で開示